

6 a, b を実数とする. θ についての方程式

$$\cos 2\theta = a \sin \theta + b$$

が実数解をもつような点 (a, b) の存在範囲を座標平面上に図示せよ.

(23 阪大・前期)

▶解答▶ $1 - 2 \sin^2 \theta = a \sin \theta + b$

$$2 \sin^2 \theta + a \sin \theta + b - 1 = 0 \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

$\sin \theta = t$ とおく. $-1 \leq t \leq 1$ である.

$f(t) = 2t^2 + at + b - 1$ とおく. 判別式を D とする.

$f(t) = 0$ が $-1 \leq t \leq 1$ の実数解を少なくとも1つもつのは次の(ア), (イ)のいずれかの場合である.

(ア) $f(-1) = 1 - a + b \geq 0, f(1) = 1 + a + b \geq 0,$

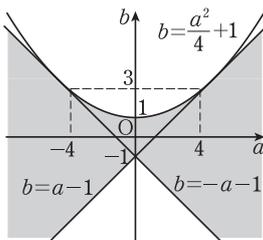
$D = a^2 - 8(b - 1) \geq 0, \text{軸: } -1 \leq -\frac{a}{4} \leq 1$

$$b \geq a - 1, b \geq -a - 1, b \leq \frac{a^2}{8} + 1, -4 \leq a \leq 4$$

(イ) $f(-1)f(1) \leq 0$

$$(1 - a + b)(1 + a + b) \leq 0$$

図示すると境界を含む図の網目部分である.



◆別解◆ ②までは本解と同じである.

$$b = -2t^2 - at + 1$$

右辺を $g(t)$ とおいて, $-1 \leq t \leq 1$ における $g(t)$ の最大値・最小値をそれぞれ M, m とすると, ②が $-1 \leq t \leq 1$ の範囲で実数解をもつ条件は $m \leq b \leq M$ である.

$$g(t) = -2\left(t + \frac{a}{4}\right)^2 + \frac{a^2}{8} + 1$$

連続関数の閉区間における最大・最小は区間の端または極値でとる. M, m の候補は

$$g(-1) = a - 1, g(1) = -a - 1$$

$$g\left(-\frac{a}{4}\right) = \frac{a^2}{8} + 1$$

のいずれかである. ただし, $g\left(-\frac{a}{4}\right)$ が候補となるのは $-1 \leq -\frac{a}{4} \leq 1$, すなわち $-4 \leq a \leq 4$ のときであり, このとき $g(-1), g(1)$ は M として考える必要はない. これらのグラフをかくと, 本解と同じ図が得られる.